

県内経済の動き

概況

〔11月～1月の動き〕

緩やかな持ち直しの動きが続く

鉱工業生産指数（11月）は2カ月ぶりに前月比上昇。通関輸出額（12月 細島港）は、6カ月連続で前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（12月 全店ベース）は2カ月ぶりに前年比減少し、「軽」を含む乗用車の販売台数（1月）は3カ月ぶりに前年比増加した。新設住宅着工戸数（12月）は、3カ月連続で前年比減少し、公共工事（12月 保証対象請負総額）は4カ月ぶりに前年を下回った。有効求人倍率（12月：1.45倍）は前月比0.02ポイント上昇し、集計を開始（昭和38年）して以来の最高値となった。1月の企業倒産は、件数、負債総額ともに前月比増加した。

県内経済は、一部の指標に弱い動きがみられるものの、総じて緩やかな持ち直しの動きが続いている。

（厚地）